

陳 情 文 書 表

令和2年9月定例会

令和2年分陳情第20号

総務文教委員会

受理年月日	令和2年9月4日
件名	富山市立小・中学校教諭の過酷な超過勤務是正に関する陳情
陳 情 人	
富山市八尾町黒田544-2 松永 定夫	
陳 情 要 旨	
<p>1 趣旨</p> <p>(1) 市教委が各小・中学校から集めて集計したデータからは、累計平均とか、全校の平均などの報告となっており、突出した学校や教員一人一人が平均以上に過酷な超過勤務をしている実態がありながら、集計では見えにくくなっています。</p> <p>よって過酷な超過勤務が継続している学校や教員に対して緊急かつ具体的な原因内容を把握するための調査を求めます。</p> <p>(2) 県教委ではエクセルデータ方式を活用し、教員ごと、及び月ごとに授業の受け持ち時間や他の管理業務などの時間を設定した目標計画を作成し、実際に超過した超過勤務時間内容と比較して改善を図る手法を県内3校の高等学校で試行していると聞いています。</p> <p>富山市教委は、上記高等学校に習い、既に試行している改善方法の導入及び、広く市民からも超過勤務低減改善のために役立つ意見を取り入れるよう求めます。</p> <p>2 理由</p> <p>平成31年3月市議会定例会 代表質問及び一般質問の概要では既に論じた経緯があり、抜粋しますと、「本年度（平成30年6月から平成31年1月）の期間について、教員一人当たりの1か月時間外勤務平均は、小学校では52時間43分、中学校では62時間53分と市教委から報告されており、また、前年度より小学校では6時間23分、中学校では7時間43分それぞれ減少している」との記録があります。</p> <p>しかしながら昨年、平成31年4月から令和元年12月における市教委学校教育課が編集作成した資料の全中学校から見ると4月は時間外勤務平均79時間4分、5月は74時間52分、また、4月から12月まで9か月間の全校平均では62時</p>	

(裏面へ)

間25分という集計結果が出ていますが、学校別に過多校があります。

特に著しく突出して多い中学校では4月は110時間3分、5月は102時間27分、6月は110時間30分で、4月から12月の平均でも90時間17分となっており、平均や累計では隠れて見えなくなっている実態があります。

また、本年度に入りコロナ禍の影響から学校が休校となっている期間においても時間外勤務が月45時間を超えている学校が小学校で2校、中学校で1校存在している状況について学校教育課が編集集計した資料から見る事が出来ます。

このように教員の過酷な勤務状況は常態化しており、一刻も早い改善が必要です。

さもないと滑川市の教諭の例のように、公務上の災害認定を受けるなどの最悪の状態を回避できないと考えます。